

「未来を選択する力」ルーブリック

	Capstone	Milestone		Benchmark
	4	3	2	1
問題発見と課題設定力	設定された「課題」について、客観的に捉えられる指標を用いて表現することができる。	現状から発見された問題と整合性が取れる課題を設定することができる。	現状から問題を発見し、何らかの課題を設定することができる。	現状から、問題を発見しようとしているが、不十分である。
データを読み解く力	他のデータとの関係も位置付けながら、データを解釈し、説明することができる。	データの特徴から問題を発見し、課題を設定することができる。	データの特徴を説明することができる。	データが示す意味を理解することができる。
チームで答えを導き出す力	作成したワークシートの内容を整理し、正しく他者に説明することができる。	自分の意見や他者の意見を取りまとめて、ワークシートを作成することができる。	他者の意見との違いを考えながら、自分の意見を言うことができる。	チームの中で自分の意見を言うことができる。
解決策の提案力	設定された課題を解決することができる「やるべきこと（対策）」を提案することができる。	設定された課題との関係性を考えながら、現実的な「やるべきこと（対策）」を導き出すことができる。	現実性のある「やるべきこと（対策）」を提案することができる。	「やるべきこと（対策）」を考え、表現することができる。
批判的思考力	自分なりの推論を内省しながら、その推論を修正したり、改善したりすることができる。	資料、データの内容や他者の意見を踏まえ、自分なりの推論を立てることができる。	資料、データの内容や他者の意見を踏まえ、事象の原因を指摘し、その因果関係に基づいて自分なりの推論を考えることができる。	資料、データの内容や他者の意見について客観的に捉え、理解することができる。
プレゼンテーション力	決められた時間を守り、聞き手の反応も考慮して、説得的な報告を手振り等も交えながら行うことができる。	決められた時間を守り、聞き手の反応も考慮に入れ、説得的な報告ができています。	決められた時間を守り、聞き手の反応も考慮に入れた報告ができています。	決められた時間を超過することなく、余らすことなく、適切に活用して報告ができています。

作成：矢尾板俊平